

**製品名: CD195 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81954**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	40.5kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD195
別名	CCR5; CKR5; CCR-5; CKR-5; CCCR5; CMKBR5; IDDM22; CC-CKR-5
遺伝子 ID	1234.0
SwissProt ID	P51681
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD195 (AA: 追加ミックス) の精製された組み換え断片。

**背景**

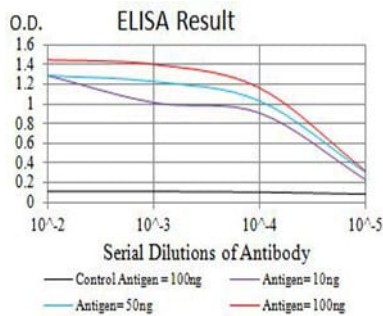
この遺伝子は、G タンパク質共役受容体に類似した7つの膜貫通タンパク質であると予測される、 $\beta$ ケモカイン受容体ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は T 細胞とマクロファージによって発現され、HIV を含むマクロファージ指向性ウイルス

スが宿主細胞に侵入するための重要な共受容体であることが知られています。この遺伝子の欠陥アレルは、HIV 感染抵抗性と関連付けられています。この受容体のリガンドには、単球走化性タンパク質 2 (MCP-2)、マクロファージ炎症性タンパク質 1α (MIP-1α)、マクロファージ炎症性タンパク質 1β (MIP-1β)、活性化制御性正常 T 細胞発現・分泌タンパク質 (RANTES) などがあります。この遺伝子の発現は前骨髄芽球細胞株でも検出されており、このタンパク質が顆粒球系細胞の増殖と分化に関与している可能性が示唆されています。この遺伝子は、ケモカイン受容体遺伝子クラスター領域に位置しています。この遺伝子の対立遺伝子多型は、機能的対立遺伝子と非機能的対立遺伝子の両方を生み出します。参照ゲノムは機能的対立遺伝子を表します。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする 2 つの転写産物バリエーションが見つっています。

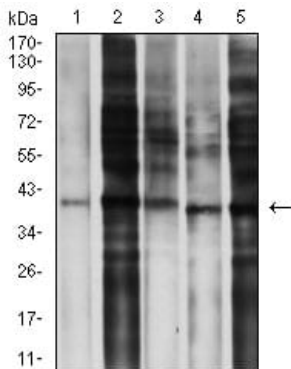
## 研究分野

Jak-STAT シグナル伝達経路

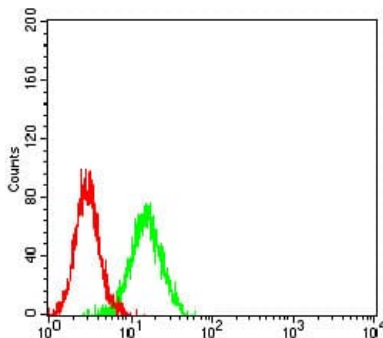
## 画像データ



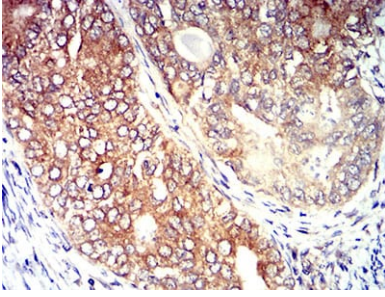
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



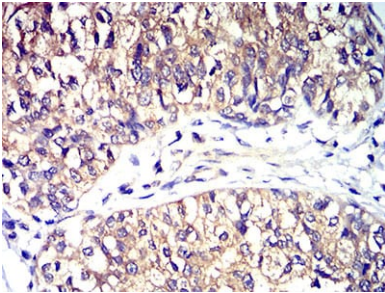
MOLT4 (1)、L-O2 (2)、SPA-C-1 (3)、A549 (4)、および C6 (5) 細胞溶解物に対する CD195 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



CD195 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CD195 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CD195 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。